



平成 30 年 6 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ィ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 江 崇 文
(コード番号：1436)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 吉 野 輝 彦
(03-5778-9436)

通期業績予想との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 3 月 9 日に公表いたしました、平成 30 年 4 月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期 通期業績予想数値との差異 (平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 30 年 3 月 9 日発表)	百万円 6,507	百万円 1,206	百万円 1,200	百万円 759	円 銭 177.25
今回実績値 (B)	6,157	1,093	1,082	562	131.34
増 減 額 (B - A)	△350	△121	△118	△197	
増 減 率 (%)	△5.4%	△10.0%	△9.8%	△26.0%	
(参考) 前期実績 (平成 29 年 4 月期)	7,198	1,135	1,125	646	151.38 円

(注)平成 29 年 4 月期より、決算日を 3 月 31 日から 4 月 30 日に変更したことに伴い、平成 29 年 4 月期の会計期間は 13 ヶ月間となります。

2. 差異の理由

当期業績は、売上高が 6,157 百万円 (前期 7,198 百万円)、経常利益は 1,082 百万円 (前期 1,125 百万円)、当期純利益 562 百万円 (前期 646 百万円) となりました。

通期業績予想数値との差異の主な要因は、売上高につきましては、今期再生エネルギーの業界に多大な影響を及ぼしました新 FIT 制度および資源エネルギー庁の電子申請システム刷新に伴う審査の遅れが完全には解消されず、平成 30 年 4 月末に系統連系を予定していた約 4 億円が、認定の遅延から計上に至らなかったことによるものです。

3. 特別損失の計上について

平成 30 年 4 月期の決算において、建設仮勘定に計上しておりましたバイオマス発電設備について、将来回収可能性を「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき検討した結果、減損の兆候が認識されたため、162 百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

4. 業績への影響に関して

上記の特別損失の計上につきましては、本日開示の「平成30年4月期決算短信〔日本基準〕（非連結）に織り込み済みであります。

以 上